

第4学年社会科学学習指導案

日 時 令和5年10月25日(水)5校時
学校名 小金井市立緑小学校
対 象 第4学年4組 30名
授業者 横田 徳広

《研究主題》

すすんで考え、関わり合いの中で学びを深めていく児童の育成
～児童の実態に即した協働的な学びを通して～

1 単元名 「とどけよう命の水」全14時間

2 小単元の目標

玉川上水の開削に尽くした玉川兄弟の業績について、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして年表などにまとめ、開削工事の様子を捉え、当時の生活の向上や地域の発展と関連付けて玉川兄弟の働きを考え表現することを通して、玉川兄弟は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上や地域の発展に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、先人の働きと現代の地域の人々の生活に関連付け、地域に誇りや愛情をもち、地域社会の発展について考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした玉川兄弟らの働きを理解している。 ②調べたことを年表や文思考ツール、文などにまとめ、玉川兄弟らは、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して問いを見出し、玉川兄弟の業績と江戸の人々の願い、開削工事が進む様子、分水によって新田開発が広まっていく様子に関連付けて考え、文章などで適切に表現したり、根拠を示して話し合ったりしている。 ②玉川兄弟らの業績と、地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて先人の働きや願いを考え、適切に表現している。	①地域の発展に尽くした玉川兄弟らの働きについて、予想を基に学習計画を立て、問題解決の見通しをもち、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ②玉川兄弟の働きと、玉川上水のその後の様子などを基に、現代の地域の人々の生活に関連付け、これからの地域社会の発展について考えようとしている。

6 本時の内容(8/14時間)

(1)ねらい

今まで学習してきたことを基にプレゼンテーションを作成するための計画をたてる。

(2)展開

	□学習活動 ○発問 ・児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価
導 入	□前時までの学習を振り返る。 玉川上水について調べてきたことを振り返る。	◇スクールタクトに配信する。 ◇学習したことを確認する。
展 開	<p>□本時のめあてを確認する。 ○「玉川上水のことを伝える計画をたてよう」 □作業の手順を知る。</p> <p>1 学習したことからどのようなことを伝えるか を話し合う。 ・玉川が作られた理由 ・ルート決定や工事の様子 ・玉川上水ができたことによる変化 ・人々の願い</p> <p>2 発表形式を決める。 ・pcでプレゼンテーションを作成する。 ・新聞形式(模造紙大)にする。 ・パンフレット形式にする。</p> <p>3 学習してきたことを基に資料を分類する。 4 自分たちのめあてを基に分担を決め、作業手順を確認する。</p> <p>□友達と考えを出し合い、グループでそれぞれの意見について話し合う。 ・作業に時間がかかる児童には、グループでフォローする。</p> <p>□グループで話し合ったことを発表する。</p>	<p>◇学習の流れを確認する。 pass:めあての確認 personal:個人作業 active:グループでの作業 share:学級での共有 study:まとめ・振り返り</p> <p>◇5つのカテゴリーの資料を配布する ◇スクールタクトに配信する。 ◇ペーパー資料も配布する。 (グループ1セット)</p> <p>1 玉川上水がつくられた背景に関すること ・人口の増加や地理的な原因による水不足 ・人々の願いがわかる手紙資料</p> <p>2 玉川兄弟や工事の様子がわかる資料 ・ルートに関することや想定外の事件 ・工具や工事方法</p> <p>3 四谷大木戸からの水の引き込みの資料 ・木製の水道管、分水する枡等</p> <p>4 武蔵野台地への分水の資料 ・武蔵野台地の人々の願い ・分水以降の田畑や村の様子</p> <p>5 玉川上水と人々との関係 ・水質を守ってきた人々 ・現代の様子</p> <p>◆自分の意見をグループで出すことができる。 ◆友達の意見を聞いて自分の考えを見直す(確認する)ことができる。 ◇タブレットやホワイトボードで発表する。</p>
ま と め	□学習の振り返りをする。 □次時の学習を知る。	

